

科目ナンバー：(A) CC UBC 9 703、(B) CC UBC 9 704

<p style="text-align: center;">共生社会創造演習 A、B</p> <p style="text-align: center;">Seminar on Creation of Co-existing Society</p>	<p>(教員名)</p> <p>阿久澤 麻理子、新ヶ江 章友、 古久保 さくら、 全 泓奎 (ジョン ホンギユ)、柏木 宏</p>	
<p>共生社会創造研究領域 演習科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>必修</p>
	<p>各 2 単位</p>	<p>2018 年度 Aは前期、Bは後期</p>
<p>I 科目の主題</p> <p>民主主義的社会的の必須要素である共生という関係性とそれを実現する社会の創出を目標とする領域である。共生社会創造演習は、差別と排除、搾取をはじめとする乗り越えられるべき否定的な関係を生む現実の構造的な理解を深めながら、それを乗り越えるための価値、活動を有効に機能させる実践的方法、組織やシステムづくりとそれらのコラボレーションについて探究する。</p>		
<p>II 授業の到達目標</p> <p>学会発表、論文作成など学問的な批判に耐える公表の仕方を身につける。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <p>共生社会の創造と関連した研究について、社会、組織、人間を対象とする既存の学問領域のインターディシプリナリーな交流によって認識を深める。具体的には、①教育社会学②経営学(NPO マネジメント)③文化人類学④福祉政策・福祉社会学⑥歴史社会学の観点から、共生社会の創造に関わる院生のテーマと関連した研究について役立つ知見を紹介する。</p> <p>学会等での発表、学会誌等への投稿準備段階で院生は発表し、演習で受けた指摘を反映した発表を義務付けられる。開講 15 回中、5 回は院生の発表をインターディシプリナリーに検討する。</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容</p> <p>学会発表および学会誌への投稿原稿につき、事前、事後最低 2 回にわたるプレゼンテーションを行わねばならないので、準備すること。</p>		
<p>V 評価方法</p> <p>受講生本人のプレゼンテーションおよびパフォーマンス、質疑応答、他の院生の学修への貢献度など平常の演習時間を通して総合評価する。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント</p> <p>他の受講生のプレゼンテーションについて批判的読解を身につけると同時に、発表者にとって有益な伝達をこころがけること。</p>		
<p>VII 教材</p> <p>指定しない。</p>		